

年間授業計画

都立西高等学校

教科	科目	使用教科書	単位数	対象学年・組
	総合的な探究の時間	『人間と社会』	1単位	第1学年A～H組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実を照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。	生徒自身が自ら課題を設定し、問いを立て、教科横断的な多面的な観点から課題を捉え、自主的な課題を解決するために主体的に取り組む態度・能力を養う。	協動的な学習を通して、コミュニケーション能力や言語活動能力の向上を図るとともに、課題を多面的・多角的に検討し、思考力・判断力・表現力等の育成を図りながら、課題解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習、演習、事後学習と体験活動の関連をしっかりと理解する。 体験活動の意義・ねらい、社会に貢献する活動と自らの役割、奉仕体験活動に関する基礎的知識・理解についてワークシートやレポート作成等を行う。 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 	4月 総合的な学習の時間のねらいや学習の進め方 「人間と社会」第13章 自然と人間の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習、演習、事後学習と体験活動の関連をしっかりと理解している。 体験活動の意義・ねらい、社会に貢献する活動と自らの役割、奉仕体験活動に関する基礎的知識・理解についてワークシートやレポート作成等を行っている。 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養っている。 				3
		5月 「人間と社会」第13章 自然と人間の関わり 高尾山での清掃活動 体験活動の意義・ねらい 体験活動と自己の在り方・生き方の関係の考察 学校近隣のボランティア活動					5
		6月 「人間と社会」第13章 自然と人間の関わり 「人間と社会」第12章 地域社会を築く					3
		7月 「人間と社会」第12章 地域社会を築く 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校での学習と社会に役立つ活動との関係 学校近隣の清掃等ボランティア活動					2
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動を通して学んだこと、課題、感想、社会貢献することの意義等について活動日誌をつける。 体験活動と探究活動との関連性について考える。 探究活動・方法について知り、探究活動に実質的に取り組み始める。 文献の読み込みを重視し、広い視野でのテーマ設定を行う。 探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進める（この時点でのテーマ変更は柔軟に行う）。 学習状況の達成状況等について報告書を作成し、発表を行う。 伝わりやすい発表方法・形態を工夫する。 	9月 「人間と社会」第12章 地域社会を築く 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣のボランティア活動 探究活動についての課題設定	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動を通して学んだこと、課題、感想、社会貢献することの意義等について活動日誌をつけている。 体験活動と探究活動との関連性について考えている。 探究活動・方法について知り、探究活動に実質的に取り組み始めている。 文献の読み込みを重視し、広い視野でのテーマ設定を行っている。 探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進めている。 学習状況の達成状況等について報告書を作成し、発表を行っている。 伝わりやすい発表方法・形態を工夫している。 				3
		10月 「人間と社会」第11章 支え合う社会 手話体験、ブラインドウォーク、車いす体験 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣の清掃等ボランティア活動 自らの探究課題との関連の考察					4
		11月 「人間と社会」第11章 支え合う社会 手話体験、ブラインドウォーク、車いす体験 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣の清掃等ボランティア活動 「人間と社会」第11章 支え合う社会 自らの探究課題との関連の考察					4
		12月 「人間と社会」第3章 働くことの意義 活動計画に基づいた地域での体験活動 自らの探究課題との関連の考察 自らの探究課題の整理・分析					3
3 学 期		1月 「人間と社会」第3章 働くことの意義 活動計画に基づいた地域での体験活動 自らの探究課題の整理・分析 探究課題における研究活動					3
		2月 「人間と社会」第3章 働くことの意義 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣の清掃等ボランティア活動 探究課題における研究活動のまとめ					3
		3月 研究活動のまとめ・発表 自己評価、キャリアガイダンス 探究テーマの設定検討 2年次研究計画の立案検討 読書活動					2
							合計
							35

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
各計画書や報告書等の内容で評価する。	各計画書や報告書の文章表現及び体験活動や各報告書の内容、探究ゼミ内の討論の状況等で評価する。	体験活動や授業時間内での活動への取り組み方、ゼミにおける姿勢等で評価する。

年間授業計画

都立西高等学校

教科	科目	使用教科書	単位数	対象学年・組
	総合的な探究の時間	なし	1 単位	第 2 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。	生徒自身が自ら課題を設定し、問いを立て、教科横断的な多面的な観点から課題を捉え、自主的な課題を解決するために主体的に取り組む態度・能力を養う。	協動的な学習を通して、コミュニケーション能力や言語活動能力の向上を図るとともに、課題を多面的・多角的に検討し、思考力・判断力・表現力等の育成を図りながら、課題解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野でテーマ設定をさせる。文献の読み込みを重視する。 ・より具体的に探究テーマを設定させ、活動の方向性を絞らせる。 ・具体的な探究活動を進める。この時点でのテーマ変更も柔軟に対応する。 	4月 探究テーマの決定、課題の設定 調べ学習（遠足、進路）	<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野でテーマ設定をしている。文献の読み込みを重視している。 ・より具体的に探究テーマを設定し、活動の方向性を絞っている。 ・具体的な探究活動を進めている。この時点でのテーマ変更も柔軟に対応している。 				3
		5月 購読図書の選定、購読及び課題研究 探究ゼミでの意見交換・内容検討 中間報告					5
		6月 購読及び課題研究 調べ学習（修学旅行、進路） フィールドワークの事前準備 探究ゼミでの意見交換・内容検討		○	○	○	3
		7月 購読及び課題研究 フィールドワークの事前準備 調べ学習（修学旅行、進路） 探究ゼミでの意見交換・内容検討 夏季休業中の研究計画提出					2
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進める。 ・探究活動のまとめに入る。報告書作成を開始する。 ・報告書の執筆と平行して、必要ならば探究活動の補足的な活動も行う。 ・報告書を早めに取り上げさせ、内容・表現等の検討も行う。 ・伝わりやすい発表方法・形態を工夫する。 	9月 購読及び課題研究 調べ学習（修学旅行、進路） 探究ゼミでの報告・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進めている。 ・探究活動のまとめに入っている。報告書作成を開始している。 ・報告書の執筆と平行して、必要ならば探究活動の補足的な活動も行っている。 ・報告書を早めに取り上げさせ、内容・表現等の検討を行っている。 ・伝わりやすい発表方法・形態を工夫している。 				3
		10月 購読及び課題研究 調べ学習（修学旅行、進路） 探究ゼミでの意見交換					4
		11月 購読及び課題研究 修学旅行に関するまとめ・報告 調べ学習（進路、各自の探究内容） 探究ゼミでの意見交換・報告書準備		○	○	○	4
		12月 購読及び課題研究 調べ学習（進路、各自の探究内容） 探究ゼミでの意見交換・報告書準備					3
3 学 期		1月 購読及び課題研究 報告書作成 探究ゼミでの意見交換					3
		2月 探究ゼミでの意見交換 報告書提出	○	○	○	3	
		3月 発表準備 探究成果発表 総括・3年次へ向けての準備				2	
							合計
							35

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
各計画書や報告書等の内容で評価する。	各計画書や報告書の文章表現及び体験活動や各報告書の内容、探究ゼミ内の討論の状況等で評価する。	体験活動や授業時間内での活動への取組み方、ゼミにおける姿勢等で評価する。

年間授業計画

都立西高等学校

教科・科目	教科書	単位数	対象学年・組
総合的な探究の時間	なし	1単位	3年A～H組

学習目標	1学期	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見つけ、教科の枠にとらわれない多面的な観点から課題を捉え、自主的な活動によって課題を解決する力を養う。 それぞれの興味関心を、現代の学問分野に照らし合わせ、興味関心の素因を探る。
	2学期	
	3学期	

学期	月	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
1学期	4	年間テーマの決定	3	年間テーマを決定し計画を立てる。 読書活動を通じて、各自の課題を探究調べ学習（遠足、進路）	調査・研究を伴う探究コースを選択している生徒は、2年次に決めたテーマについて、最終レポート提出までの計画を立て、顧問教諭の助言を受けながら調査・研究に継続的に取り組む。
	5	研究活動 テーマごとの図書探索・調査	5	購読図書の選定 読書活動を通じて、各自の課題を探究 第1回レポート提出	
	6	研究活動 テーマごとの図書探索・調査	3	読書活動を通じて、各自の課題を探究 調べ学習（進路、大学での研究計画）	
	7	研究活動 テーマごとの図書探索・調査	2	読書活動を通じて、各自の課題を探究 第2回レポート提出 第1回中間報告 調べ学習（進路、大学での研究計画）	
2学期	9	研究活動	3	読書活動を通じて、各自の課題を探究 第3回レポート提出 調べ学習（進路、大学での研究計画）	調査・研究を伴う探究コースを選択している生徒は、2年次に決めたテーマについて、顧問教諭の助言を受けながら調査・研究のまとめの作業に取り組み、最終レポートを提出する。 クラス内またはクラス横断的な形式で発表を行う。
	10	研究活動	4	読書活動を通じて、各自の課題を探究 調べ学習（進路、大学での研究計画）	
	11	研究活動	4	読書活動を通じて、各自の課題を探究 第4回レポート提出 調べ学習（進路、大学での研究計画）	
	12	研究活動	3	読書活動を通じて、各自の課題を探究 最終レポート提出 調べ学習（進路、大学での研究計画）	
3学期	1	知識を活用する能力および思考力・表現力を培う。	8	読書活動を通じた課題の探究で得られ知識を、各教科の学習や日常生活の中で活用したり、知識を基に思考・表現したりする力を培う取り組みを行う。 調べ学習（進路、大学での研究計画）	調査・研究を伴う探究コースを選択している生徒も、左記と同様の取り組みを行う。 クラス内またはクラス横断的な形式で発表を行う。
	2				
	3				

〔評価の観点・方法〕

- | | |
|----------------|---|
| 1 知識及び技能 | 各計画書やレポート等の内容で評価する。 |
| 2 思考力・判断力・表現力等 | 各計画書やレポート等の文章表現及び調査・研究活動や各レポート等の内容、発表や討論の状況で評価する。 |
| 3 主体的に取り組む態度 | 調査・研究活動や授業時間内での活動への取り組み方、発表に対する姿勢等で評価する。 |

以上をふまえ、総合的な探求の時間への参加と報告書等の提出をもって単位を認定する。